慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2015
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.20 (2015. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20150704-0213

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

『三田社会学』第 20 号をお届けいたします。創刊 20 周年にあたり特別な特集を組むことはありませんでしたが、本号には、有末賢会長の巻頭言にはじまり、昨年度大会時のシンポジウムに基づく特集論文 6 本、投稿論文 5 本、書評論文 12 本、書評リプライ 7 本、大会報告要旨 2 本が掲載され、分量的にも既刊号と比べてかなり大部の号となりました。このこと自体、三田に関わる社会学系の研究者の活動のひろがりと活力を示すものであり、本号も結果として 20 周年を飾るにふさわしいものになったと思います。

なお、本号には投稿論文が 7 本あり、査読・再査読を経て掲載可となった論稿は 5 本でした。査読をお引き受けいただき、丁寧であり、かつ厳しくもあるアドバイスを送っていただいた先生方に、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

個人的なことで恐縮ですが、巻頭言で有末会長がふれてくださったように、20 年前、『三田社会学』の創刊号には、死の社会学をテーマとした拙論を掲載していただきました。私としては、それまで業績を公開したことのなかった領域に関するはじめての論文で、いささか不安であったことを記憶しております。ただ、後から振り返ると、それが出発点となり、その後の研究が始動し、後につながっていったと思います。若手や中堅の研究者の皆さんにとっても『三田社会学』が、たとえばそうした試みの場となれば、編集サイドとしても幸いです。多くの会員の皆さまからの積極的な投稿を大いに期待しております。

なお、今年度も刊行にあたって三田哲学会から助成をいただきました。最後となりましたが記して感謝申し上げます。

（編集委員長　澤井敦）

編集委員会
澤井敦（委員長）　菅野博史　熊田俊郎　塩原良和
近森高明（事務局）　山腰修三（事務局）

題字は福沢諭吉による

三田社会学
第 20 号
発行　2015 年 7 月 4 日
編集発行：三田社会学会
〒108-8345　東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学文学部近森研究室内
tchikamori@a5.keio.jp

印刷：梅沢印刷所

250 部発行